imaルアーがもっとわかる! 最新情報デジタルマガジン!

imaデジマグ vol.74 2012.8

Take FREE! ¥0

真っ暗シャローが攻めドコロ!!

水面をかき乱してランカーを誘き出す

釣果の下がる初夏、
狙い目は意外にも
真っ暗な河川や干潟のナイトゲームでした。
そんな真っ暗シャローの攻め方を、
imaテスター大野ゆうき氏が
きめ細かに解説。
使うのは自身の監修した
引き波系サーフェイスプラグの
molmo80です!

何故、初夏は釣果が下がりやすい?

バチ抜けが終わり、夏を目前にして小魚や甲殻類をメインに捕食するシーバスが増えるシーズンがやってきた。春のバチ抜けシーズンは、小魚や甲殻類はたくさんいたものの、ナイトゲームの時合いはバチ抜けパターンに凝っていたアングラーも多かったと思う。そんな魚探しがイージーなバチ抜けを過ぎるとキャッチ率がたちまち下がるのが初夏というシーズンだ。小魚や甲殻類をメインに捕食するシーバスを狙い、ポイントセレクトやルアーセレクトをするようになるわけだが、秋のハイシーズンとは大きく状況が異なってくる。

夏から秋はイワシやサッパ、コノシロにイナッコといった代表的なベイトが港湾部と河川に入り込みその大量のベイトに引っ張られるようにして、シーバスが岸から狙える範囲に集まってくる。初夏は秋と同じようなベイトが入ることがあるものの、イナッコにしても秋のサイズにまで育っていないため、小さなイナッコに着くシーバスのコンディションと、食べごろサイズに育ったシーバスに着くシーバスのコンディションにも差が出てくる。またこの時期は秋のハイシーズンのようにベイトの滞在期間が長くなく、不安定なのも違いといえる。

ベイトを探してポイントをmolmo80で叩く

グングンと水温が上がり小魚や甲殻類も水面付近で見られる機会は多くなる。だが、シーバスの入り、ベイトへの着きが安定していないため秋のように多くのポイントでコンスタントに釣果を出せるというわけでもない。そこで釣り易くなってくるのがシーバス探しの基本となるベイト探しだ。河川で言えばイナッコ等が溜まっているシャロー。上げ潮時にシーバスに食べられにくくコケやプランクトンなどエサをとりやすいシャローに入り込んだイナッコは下げ潮で潮が下がるにつれて強制的に深い方へと追いやられる。シーバスはそれを解っていて、シャローのブレイクやボトムのストラクチャーに潜み捕食のチャンスを伺っているのだ。そんなときに活躍してくれるのがどんな浅いシャローでも引くことのできる引き波系サーフェイスプラグのmolmo80だ。

明暗部より真っ暗なポイント?

シーバスの着きやすい代表的なポイントの一つに河川の橋周り・明暗部がある。もちろん明暗部でも水面付近でベイトを捕食しているシーバスがいれば潜るルアーより効果的にバイトを取ることができるが、この

プラグが最も生きるポイントシチュエーションが明暗部ではなく、真っ暗な河川のシャローや干潟といったシャローエリアだ。

molmo80は岸際の水深10〜20cmといった浅いところでも通してくることができる。もし、そんな超シャローにもシーバスが入り込むことのできる水深があり、たくさんのイナッコがたまっているポイントを見つけることができれば、釣りが成立する。ボイルしていればなおさら釣り易い状況だが、ボイルしていなくてもイナッコを捕えようとシャローをウロつくシーバスにスイッチを入れることが可能だ。それがただ巻き＋時々ジャークといったテクニック。

河川&干潟でのオススメ使用方法

ボイルしているようであればただ巻きで引き波を出しながらゆっくり引っ張れば食ってくれるが、そうでない魚に対してはこちらから仕掛けていかないとスイッチが入らない。それを可能にするのがただ巻きの引き波＋時々ジャークで水面をかき乱すというテクニック。ただ巻きの中にランダムにジャークを織り交ぜることで水面を撹拌し、イナッコが逃げまどいパニックになっている状態をイミテートすることで一気にシーバスの捕食スイッチがonになる。

こんな真っ暗で浅い&流れの緩いところにシーバスがいるはずない、と思っているアングラーは多く、ほとんど攻められていないのだ。だからこそ、molmo80を使って他のアングラーを出し抜ける。ハイシーズンになればそんな超シャローからランカーが飛び出すことも。

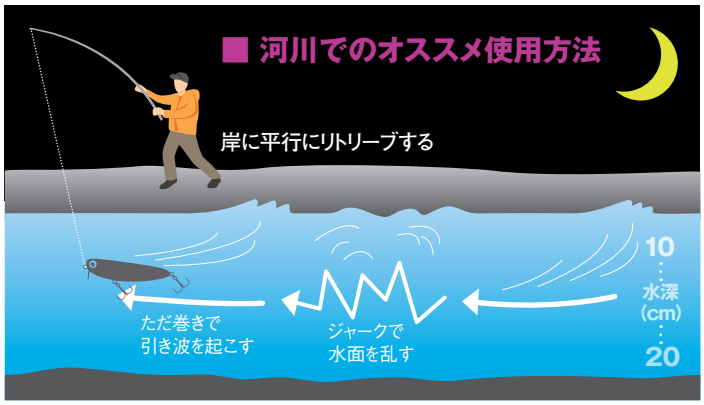
一方、干潟のような広いシャローではサーチ的な使い方でナイトゲームのパイロットルアーとして使っている。引き波はいち早くシーバスにルアーを見つけてもらう良い手段だが、ただ巻きだけで食わないときは河川でもよく使うただ巻きの引き波＋時々ジャークで水面をかき乱すというテクニックを使う。

河川でも干潟でも同様に流れがある程度早ければ、上手にキャストして、ただ巻き＋時々ジャークで誘う。流れがあまり感じられないようであれば流れの向きにかかわらずキャストして、ただ巻き＋時々ジャークを繰り返しても構わない。

お手軽チューンで変貌するmolmo80

molmo80の簡単なチューニングとしてはフックサイズを変えること。標準装備はST46#6だが、#5にアップすると引き波はそのままでアクションがより落ち着きのあるタイトなものへと変わる。流れの下手や流速が速いときの対処法として、またバイトが出ても弾いてしまうようなとき、さらには飛距離を出したいときにもフックサイズを#5にアップする。

引き波系プラグの最大の楽しみはバイトが見えるドキドキ感。水面に捕食音と共に水柱が立ちヒットする様はトップウォータープラグ同様の楽しさがある。これからの時期、河川や港湾部のシャローエリアで水面爆発を楽しんでみてはほしい。



ANGLER 大野 ゆうき
Yuki Ono

東京湾奥をホームに年間1トンを越す水揚げを誇るソルト界屈指のアングラー。レンジ、アクション、スピードの3つの要素を軸にルアーローテを展開。マッチザベイトに頼らず、いかにして口を使わせるかといった釣果直結の理論を持つ。過密フィールド、ハイプレッシャー下でテクニカルなキャストと豊富な引き出しで圧倒的な釣果を叩き出す。

大野ゆうき氏完全監修!
引き波系ミノー!!

モルモ80
molmo80

[全長]80mm [重量]12g [タイプ]フローティング [レンジ]0〜20cm
[アクション]ウォブンロール [フック]ST-46 #6 [リング]オリジナル#3

好評発売中! 1,890円(税抜 1,800円)

#MO80-001 レッドヘッド

#MO80-002 ハッピーレモン

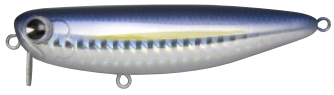
#MO80-003 コーラルピンク

#MO80-004 グリームノッチ

#MO80-005 コットンキャンディー

#MO80-008 グリーンSゴールド

#MO80-011 グラデイワシ


#MO80-015 マッシュベイト

ima 株式会社アムズデザイン 〒289-2516 千葉県旭市ロ404番1
tel 0479-62-8505 fax 0479-62-7880 info@ima-ams.co.jp
www.ima-ams.co.jp